

## 2015年（平成27年）年頭にあたって

病院長 仙賀 裕



新年明けましておめでとうございます。  
本年も宜しくお願い致します。年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

この数年来、国の医療政策の柱として、高齢化がピークに達する平成37年に向け、地域医療ビジョン、病床機能の適正配置と在宅医療の拡充が強く押し出されています。昨年9月には改正医療法に基づき義務とされる平成26年度病床機能報告のマニュアルが厚生労働省から提示され、9月以降当院もその対応に悩まされました。さらに保健、福祉、介護も含めた地域包括ケアシステムも組み合わされたため、その方向性、厚生労働省が意図する意味、内容を理解することが医療の世界で生き残りを図るために必要不可欠でした。そのため当院の今後の病院機能、病院運営、病院経営を地域医療連携、地域包括ケア、地域医療ビジョンの視点から見直しました。

その結果当院は湘南東部医療圏の中では充実した医療体制、設備を整えている茅ヶ

崎市内唯一の400床以上の病院であることから、今後もすべての病床を二次救急中心とした急性期病院として運営していくことに決定しました。神奈川県が今後示すことになる湘南東部医療圏の地域医療ビジョンのなかで慢性期、療養型病床に転換を迫られることが無いように本年は更にハード面、ソフト面で急性期医療体制づくりを行っていきます。

平成24年10月1日に茅ヶ崎徳洲会病院が湘南藤沢徳洲会病院として辻堂に移転し、2年経過しました。最近では茅ヶ崎・寒川の救急搬送の約半数を当院が受け入れている状態が続いています。集中治療室の設置、地域医療支援病院認定、地域医療連携室の拡充、手厚い看護を行うための7対1の看護師配置、茅ヶ崎医師会および登録医（※）との連携の促進、茅ヶ崎医師会が運営する急患センターの機能拡充、近隣の急性期病院との連携等が当院の二次救急医療体制の充実に繋がっていると思われま

※登録医・・・病院と診療所が一体となって地域の住民の皆様の健康維持に貢献することを目的に当院に登録している診療所の医師のこと

昨年は茅ヶ崎市民、患者さんには急性期医療に不便を感じさせることなく診療が行えたと自負していますが、その要因として職員の意識が大きく変わってきたことがあげられます。改善すべき点もありますが、患者さんを含めたすべての来院者に対しての接遇の改善に努力しています。

医療法改正の基本的な考え方は高齢化が進展し、医療・介護サービスの需要が増大していく中で、患者さんそれぞれの状態にふさわしい良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する体制を構築していくことに要約されます。そのためには医療機能の分化・連携を進め、各医療機能に応じて必要な医療資源を適切に投入し、入院医療全体の強化を図るとともに、同時に、退院患者さんの生活を支える在宅医療及び介護サービス提供体制を充実させていくことが必要であるとされています。当院は茅ヶ崎市、茅ヶ崎医師会等関係組織、地域住民とさらに協力を深め、本年もその実現の一翼を担いたいと思います。

茅ヶ崎市民が住み慣れた地域、自宅等で安心して生活が続けられるようにするための地域包括ケアシステム、急性期、回復期、慢性期等、医療提供体制の確立が当院の地域医療連携室を中心に昨年は少しずつ進んで行きました。地域の中で医療と介護サービスが一体的に提供されることが必要で、医療と介護の連携を今年も更に推進する必要があります。

当院としては救急医療体制を更に充実させ、二次救急医療病院に特化しつつも、紹介・逆紹介等地域医療支援病院として地域医療連携室の機能をさらに向上させ、在宅医療・介護サービスの太いパイプになり、地域住民、患者サービスに努めて行く予定です。このため必須となる別棟建設を具体化していきます。これにより不足している医療のためのスペースが確保できるだけでなく、当院職員の勤務環境の改善にもつながると考えます。

当院をはじめとする公立病院は周囲の医療環境がどのように変化しても、毅然たる態度で良質な医療を地域住民に提供し続ける必要があるということあらためて肝に銘じて本年を茅ヶ崎市民、当院職員にとって良い年にしていきたいと強く思います。患者さんの最後の砦は公立病院である茅ヶ崎市立病院でありたいと思い、また茅ヶ崎市立病院に受診されるすべての患者さんが満足して帰れるような病院にしていく所存です。

毎年のことですが、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、臨床工学技士、理学・作業療法士、言語聴覚士、医療専門の事務等、総数500人近く、非常勤も含めれば800人近い専門集団は茅ヶ崎市民の貴重な財産です。茅ヶ崎市民の皆さんは、その財産をうまく利用していただきたいと思います。本年もすべての職種で優秀な人材を採用していきたいと考えています。

#### おわりに

癌治療の充実、周産期医療の充実、救急医療体制の拡充、災害時医療の日頃の準備、地域医療連携、市民の健康管理への対応、安全管理への個々の職員、病院全体の心構え、職場環境の改善など今年もさらに充実させていきます。本年もご支援、ご指導を宜しくお願いします。

